

## 房総半島の海洋生物誌(1999~2010年)の概要

菊地則雄・奥野淳兒・川瀬裕司

千葉県立中央博物館分館海の博物館

〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾 123

E-mail: kikuchin@chiba-muse.or.jp

**要 旨** 千葉県立中央博物館分館海の博物館では、開館した 1999 年(平成 11 年)から、資料研究事業の一環で「房総半島周辺の海洋生物相とその特徴」を主題とした調査研究を行ってきた。本稿は 2010 年までの 11 年余りの成果を、「魚類誌」「無脊椎動物誌」「藻類誌」および「その他」に分けて総括する。分類群ごとに、メンバー、概要、主な研究成果、収集資料、発表論文・報告書等を記述する。

**キーワード:** 房総半島, 千葉県, 動物相, 植物相, 分布, 分類, 生態, 魚類, 無脊椎動物, 藻類, 鳥類, 哺乳類, 標本, 画像, 映像, 千葉県立中央博物館分館海の博物館。

千葉県立中央博物館分館海の博物館では、開館した 1999 年(平成 11 年)から、資料研究事業の一環で「房総半島周辺の海洋生物相とその特徴」を主題とした調査研究を行ってきた。館内の研究体制を、研究職員の専門分野に合わせて「魚類」「無脊椎動物」「藻類」の 3 班に分け、主に班ごとに主題に合わせた調査研究に取り組む「総合分野」と、各職員の専門性を活かして、主題に関連したそれぞれのテーマをより深く調査研究する「詳細分野」の 2 本立てで取り組んできた。また、人事異動に伴い鳥類などの他の分類群を専門とする職員が赴任した場合、主題に添って、それぞれの職員の専門性を活かした研究を展開した。さらには、各職員の専門としない分類群に関しても、必要に応じて、中央博物館本館を始めとした他機関等の研究者との共同研究の形で実施した。

2009 年 3 月で開館から 10 年が経過し、2010 年 12 月 31 日現在、収集した資料は、写真資料 12,215 点、動画資料 1,322 点、図書資料 1,877 点も含めて 58,395 点に上り、多くの新知見が得られた。ここでは、開館から 2010 年 12 月までの 11 年余りの成果を、班ごとに「魚類誌」「無脊椎動物誌」「藻類誌」として総括し、また「その他」として鳥類と哺乳類の研究成果について加えた。本研究を実施するにあたり、県内外、また海外も含めて多くの研究者や一般の方々、関係機関等にご協力いただいたことをここに感謝する。

### 魚類誌

**メンバー:** 望月賢二(1999 年 3 月~2001 年 3 月), 藍澤正宏(1999 年 3 月~2007 年 3 月), 乃一哲久(1999 年 3 月~2008 年 3 月), 川瀬裕司(1999 年 3 月~2008

年 3 月, 2009 年 4 月~), 中村裕明(2009 年 4 月~)

**概要:** 千葉県勝浦市を中心に、館山、小湊、鴨川、銚子など房総半島各地の沿岸域で魚類標本および映像資料(写真・動画)の収集を行った。また、房総半島の魚類誌の特徴を把握するため、伊豆大島(南方域との比較)、宮城県志津川(北方域との比較)、京都府舞鶴(日本海側との比較)などで標本・資料の収集を行った。

**収集資料:** 魚類標本 14,341 点を収集し、登録・保管した(2010 年 12 月 31 日現在)。

**主な研究成果:**

- 1) 房総半島各地における資料収集と既存の知見から、千葉県産魚類として 1,100 種が記録された。
- 2) 房総半島に來遊する熱帯性の死滅回遊魚のうち、チョウチョウウオ科 5 種の耳石日周輪を解析したところ、浮遊生活期間は 26~63 日であることが明らかとなった。
- 3) 館山沿岸で見られるカワハギ科 6 属 7 種のうち、カワハギ、ヨソギ、アミメハギ、アオサハギの 4 属 4 種で繁殖が確認・示唆された。
- 4) 勝浦沿岸に生息しているウツボの生殖腺の組織学的観察を行ったところ、繁殖期は 5 月から 7 月であることが明らかとなった。
- 5) 海の博物館前の磯(勝浦市)にできるタイドプールに出現する魚類を継続的に調べたところ、温帯種の稚魚が出現する時期は年によって大きな差はないのに対して、熱帯種の稚魚では 1 カ月以上の差が見られた。

**発表論文・報告書等:**

望月賢二(監修). 1999. 紀州・熊野採集日本産魚類図譜. 335 pp. はる書房, 東京。

- 鈴木寿之・瀬能 宏・岩田明久・藍澤正宏. 1999. 日本におけるウスゲシヨウハゼ（新称）の記録. 伊豆海洋公園通信 10(8): 4-7.
- 川瀬裕司. 1999. モンガラカワハギ上科魚類の繁殖行動とその進化. *In* 松浦啓一・宮 正樹（編）, 魚の自然史 - 水中の進化学, pp. 181-195. 北海道大学図書刊行会, 札幌.
- 望月賢二. 海生動物. *In* 千葉県史料研究財団（編）, 千葉県の自然誌 本編 7 千葉県の動物 2- 海の動物 - (分担執筆). pp. 432-635. 千葉県, 千葉市.
- 藍澤正宏. 2000. ガンギエイ科: 164-174, ウスエイ科: 175, カライワシ科: 188, イセゴイ科: 188, ソトイワシ科: 189, ギス科: 189, セムシウナギ科: 241, ソコイワシ科: 284-286, デメニギス科: 287-288, ワニトカゲギス目: 305, ヨコエソ科: 306-310, ムネエソ科: 311-317, ギンハダカ科: 318-321, ホウライエソ科: 322, ワニトカゲギス科: 323, トカゲハダカ科: 324-329, ホテイエソ科: 330-344, ホウキボシエソ科: 345, ミツマタヤリウオ科: 346, シヤチブリ科: 347-348, クサアジ科: 401, アカマンボウ科: 402, カクレウオ科: 445-448, カブトウオ科: 477-480, アンコウイワシ科: 481, アカクジラウオダマシ科: 481, クジラウオ科: 482-483, トクビレイワシ科: 484, ソコクジラウオ科: 484, サヨリ科: 548-551, トビウオ科: 552-561, ダツ科: 562-563, サンマ科: 564, アゴアマダイ科: 741-743, アマダイ科: 782-783, キツネアマダイ科: 784-785, イトヨリダイ科: 847-855, アサヒギンボ科: 1087, コケギンボ科: 1088-1089, イソギンボ科: 1090-1119, ハリセンボン科: 1432-1434. *In* 中坊徹次（監）, 日本産魚類検索 - 全種の同定 - 第二版, 東海大学出版会, 東京.
- 鈴木寿之・瀬能宏・坂本勝一・岩田明久・藍澤正宏. 2000. ナガセハゼの記録およびマツゲハゼに関する分類学的問題. 伊豆海洋公園通信 11(6): 2-6.
- 鈴木寿之・瀬能宏・坂本勝一・岩田明久・藍澤正宏. 2000. 西表島から得られたサルハゼ属 4 種について. 伊豆海洋公園通信 11(7): 2-7.
- 乃一哲久. 2001. ヒラメは何を食べ、何に食べられているのか. *In* 千田哲資・南卓志・木下 泉（編）, 稚魚の自然史, pp. 125-141. 北海道大学図書刊行会, 札幌.
- Aizawa, M. 2002. Stomiiformes, Veliferidae, Lamprididae, Carapidae, Stephanobercyiformes, Exocoetoidei, Blenniidae, Diodontidae. *In* Nakabo, T. (ed.), Fishes of Japan with pictorial keys to the species, English edition, Tokai Univ. Press, Tokyo.
- 川瀬裕司. 2002. 千葉県館山海底谷の海底地形と生物 - 自走式水中テレビカメラによる観察 -. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 7: 5-12.
- Kawase, H. 2002. Simplicity and diversity in the reproductive ecology of triggerfish (Balistidae) and filefish (Monacanthidae). *Proc. 70th Anniversary of JSFS*. 119-122.
- 藍澤正宏. 2003. ワニトカゲギス目・アジ科・ハゼ科・ボラ科. *In* 井田 齊・松浦啓一（監）, 小学館の図鑑 NEO「魚」, 小学館, 東京.
- 乃一哲久・山口勝秀・玉本泰之. 2003. 長崎県大瀬戸町雪浦川の陸封アユについて. 長崎県生物学会誌 (56): 1-6.
- Kawase, H. 2003. Maternal egg care in the bridled triggerfish, *Sufflamen fraenatus* (Balistidae) at Hachijojima Island, Japan. *Nat. Hist. Res.* 7 (2): 193-197.
- 川瀬裕司. 2003. 千葉県館山湾におけるカワハギ科魚類の繁殖行動. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 7(2): 85-88.
- Kawase, H. 2003. Spawning behavior and biparental egg care of the crosshatch triggerfish, *Xanthichthys mento* (Balistidae). *Env. Biol. Fish.* 66: 211-219.
- 川瀬裕司. 2003. 平成 15 年度マリンサイエンスギャラリーガイドブック 子育てする魚 - 自分の子供を残すための巧みな工夫 -. 12 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- 荒尾一樹・藍澤正宏. 2004. 三重県尾鷲市で採集されたイドミミズハゼ. 南紀生物 46: 25-28.
- 藍澤正宏. 2005. 第 5 章, 海や海辺の動物. *In* 千葉県資料研究財団（編）, 千葉県の自然誌 別編 3, 千葉県の動物写真集 (分担執筆), pp. 267-447. 千葉県, 千葉市.
- Kawase, H. 2005. Fast maturity and spawning within an initial reproductive season of Japanese filefish, *Rudarius ercodes* (Pisces: Monacanthidae). *Nat. Hist. Res.* 8(2): 53-56.
- Kawase, H. 2005. Spawning behavior of the pygmy leatherjacket *Brachaluteres jacksonianus* (Monacanthidae) in southeastern Australia. *Ichthyol. Res.* 52: 194-197.
- 川瀬裕司. 2005. 海の生きもの観察ノート 4 海に潜って魚の繁殖行動を観察しよう. 24 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- 乃一哲久・Subiyanto・平田郁夫. 2006. 九州西岸の砂浜海岸におけるホンガレイ着底仔稚魚の出現と食性. 日本水産学会誌 72: 365-373.
- 藍澤正宏. 2006. 平成 17 年度マリンサイエンスギャラリー - これもハゼ, これでもハゼ - ハゼの世界. 24 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- 乃一哲久. 2007. 徳島県つるぎ町半田川の魚類相と流成分布. 徳島県立博物館研究報告 (17): 53-73.
- Kawase, H. 2007. A list of reef fishes and their reproductive ecology in the coastal waters of the Sydney area based on underwater photographs and movies. *Nat. Hist. Res.* 9(2): 63-69.
- Yano, K., M. Miya, M. Aizawa and T. Noichi. 2007. Some aspects of the biology of the goblin shark, *Mitsukurina owstoni*, collected from the Tokyo Submarine Canyon and adjacent waters, Japan. *Ichthyol. Res.* 54: 323-332.
- 川瀬裕司. 2010. 海の生きもの観察ノート 9 磯の魚を観察しよう. 30 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.

## 無脊椎動物誌

メンバー: 高山順子 (1999 年 3 月 ~ 2003 年 3 月), 西 栄二郎 (1999 年 3 月), 奥野淳児 (1999 年 3 月 ~), 立川浩之 (1999 年 3 月 ~ 2010 年 3 月), 柳 研介 (1999 年 4 月 ~ 2009 年 3 月), 村田明久 (1999 年 4 月 ~)

**概要:** 房総半島の海産無脊椎動物相を解明する目的で、千葉県勝浦市を中心に県内各地で継続的に標本を収集した。無脊椎動物の多くは、生時の色彩が種を同定するための重要な形質となるため、収集した資料はできる限り新鮮な状態で撮影することに努めた。また、無脊椎動物というくくりには多様な分類群が含まれており、メンバーの専門性からかけ離れているグループも少なくない。従来の博物館では、職員の専門以外の分類群はたとえ普通種であっても資料の収集・保管がなされていないことが多く、博物館のコレクションが地域のファウナを調べる基礎資料となるにはほど遠い状態にあるのが現状である。そこで海の博物館では、専門以外の分類群の標本も積極的に収集するため「無脊椎動物班一斉調査」を勝浦市吉尾、館山市沖ノ島、木更津市小櫃川河口干潟、いすみ市夷隅川河口干潟、銚子市君が浜（以上潮間帯での徒手による採集）、勝浦市鶴原島、鴨川市磯村地先、館山市波左間地先（以上スクーバ潜水による採集）において実施した。

**収集資料:** 刺胞動物標本 5,924 点、甲殻類標本 2,513 点、軟体動物標本 9,200 点、棘皮動物標本 1,560 点、その他の分類群 672 点の計 19,869 点を登録・保管した (2010 年 12 月 31 日現在)。

#### 主な研究成果:

学術論文等で公表された研究成果は次の通りである。

- 1) 甲殻亜門十脚目において、本研究プロジェクトで採集された千葉県産の標本に基づき、以下の 4 種が新種として記載された: ハクセンアカホシカクレエビ *Ancylomenes kobayashii* (Okuno and Nomura, 2002); アカホシカクレエビ *Ancylomenes speciosus* (Okuno, 2004); ボウシュウアナエビ *Litoraxius boshu* Komai and Tachikawa, 2007; コモレビアカモエビ *Lysmata lipkei* Okuno and Fiedler, 2010. 特に、ボウシュウアナエビとコモレビアカモエビについては、海の博物館に近い勝浦市鶴原がタイプ産地となる。
- 2) 花虫綱ウメボシイソギンチャク科のアオホシイソギンチャク *Anthopleura atodai* Yanagi and Daly, 2004 が、千葉県を含む多数の本州産の標本に基づき、新種として記載された。
- 3) 本研究プロジェクトで採集された千葉県産の標本に基づき、以下の海産無脊椎動物が本県に分布していることが報告された: 刺胞動物門鉢虫綱のユウレイクラゲ *Cyanea nozakii* Kishinouye, 1891; 扁形動物門渦虫綱のムラサキニセツノヒラムシ *Pseudoceros atropurpureus* Kato, 1934; 環形動物門多毛綱のウパラカンザシゴカイ *Spirobranchus paumotanus* (Chamberlin, 1919), ウロコムシ科の一種 *Hololepidella* sp., パンダスイクチムシ *Myzostoma labatum* Graff, 1877; 甲殻亜門十脚目のアカスジカ

クレエビ *Manipontonia psamathe* (De Man, 1902), オドリカクレエビ *Ancylomenes magnificus* (Bruce, 1979), フタバゴイシガニ *Palapedia truncatifrons* (Sakai, 1974), シンイボテガニ *Neoactumnus convexus* Sakai, 1964.

- 4) 鴨川市磯村地先で採集されたコマチイバラモエビ *Lebbeus comanthii* Hayashi and Okuno, 1997 の抱卵雌から得られた幼生によって、本種がデカポディッド幼生の段階で孵化する種であることが明らかになり、そのために本種の分布域が外房と相模灘に限定されていることが示唆された。
- 5) 従来、紀伊半島以南でしか確認されていなかったコウイカ目のトグロコウイカ *Spirula spirula* (Linnaeus, 1758) の漂着が、鴨川市で発見された。

#### 発表論文・報告書等:

- Okuno, J. 1999. *Izucaris masudai*, new genus, new species (Decapoda: Caridea: Palaemonidae), a sea anemone associate from Japan. J. Crust. Biol. 19(2): 397-407.
- Okuno, J. 1999. *Palaemonella hachijo*, a new species of shrimp (Crustacea: Decapoda: Palaemonidae) from a submarine cave in southern Japan. Proc. Biol. Soc. Wash. 112(4): 739-745.
- 奥野淳児・峯水 亮. 1999. アヤトリカクレエビ (新称) (甲殻綱: エビ目: テナガエビ科) について. 伊豆海洋公園通信 10(10): 2-3.
- Nishi, E. and H. Tachikawa. 1999. A new record of a commensal scale worm *Medioantenna clavata* Imajima, 1997 (Polychaeta: Polynoidae), from Ogasawara Islands, Japan. Nat. Hist. Res. 5(2): 107-110.
- 小川数也・高橋耿之介・立川浩之. 1999. 日本産非造礁性イシサンゴ類の再検討と同定の手引 -V. チョウジガイ属・ムシバチョウジガイ属. 南紀生物 41(2): 115-124.
- Okuno, J. 2000. Additional specimens of *Palaemonella hachijo* Okuno, 1999 (Decapoda, Caridea, Palaemonidae). Crustaceana 73(10): 1297-1299.
- Okuno, J. and H. Tachikawa. 2000. A new species of the genus *Neostylodactylus* Hayashi Miyake, 1968 (Crustacea: Decapoda: Stylodactylidae) from southern Japan. Proc. Biol. Soc. Wash. 113(1): 39-47.
- 奥野淳児・田中幸太郎. 2000. カメンカクレエビ (新称) (甲殻綱, エビ目, テナガエビ科) の色彩と北西太平洋からの記録. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 6(1): 67-71.
- Asakura, A. and H. Tachikawa. 2000. A new hermit crab of the genus *Calcinus* from Micronesia, including new information on *C. revii* (Decapoda: Anomura: Diogenidae). J. Crust. Biol. 20(special number 2): 266-280.
- 小川数也・高橋耿之介・立川浩之・坂井恵一・千葉 潤. 2000. 日本産非造礁性イシサンゴ類の再検討と同定の手引 -VI. チョウジガイモドキ属・ツタチョウジガイ属・ニセツボサンゴ属・ツツサンゴ属. 南紀生物 42(1): 55-63.
- 柳 研介. 2000. 有明海のイソギンチャク. In 佐藤正典

- (編), 有明海の生きものたち - 干潟・河口域の生物多様性 -, pp. 148-149. 海遊舎, 東京.
- Okuno, J. and K. Tanaka. 2001. The occurrence of a sea urchin associate, *Gnathophylloides mineri* Schmitt, 1933 (Crustacea: Decapoda: Gnathophyllidae) in Japanese waters. J. Nat. Hist. Mus. Inst. Chiba 6(2): 157-162.
- Okuno, J. and T. Yanagisawa. 2001. *Periclimenes rectirostris* Bruce, 1981 (Crustacea: Decapoda: Palaemonidae): New host record and range extension. Nat. Hist. Res. 6(2): 77-81.
- 奥野淳児. 2001. 海の生きもの観察ノート1 磯でみられるエビ・ヤドカリ・カニ. 24 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館. 勝浦市.
- Komai, T. and J. Okuno. 2001. Revisiting *Paguritta gracilipes* (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae), with description of its coloration in life. Spec. Div. 6(4): 295-307.
- Yanagi, K. 2001. Preliminary Report on the Actiniaria Trawled by R/V. "Hakuho-Maru" KH01-2 Reserch Cruise During October-November, 2001. Preliminary Report of the Hakuho Maru Cruise.
- 柳 研介. 2001. 千葉県勝浦に出現した大型のユウレイクラゲ (刺胞動物門, 鉢虫綱). 南紀生物 43(2): 159-160.
- Murata, A., M. Imafuku and N. Abe. 2001. Copulation by the barnacle *Tetraclita japonica* under the natural conditions. J. Zool., Lond. 253: 275-280.
- Okuno, J. 2002. A new species of the '*Periclimenes aesopius* species group' (Decapoda: Palaemonidae: Pontoninae) from the Ryukyu Islands, southern Japan. Bull. Nation. Sci. Mus., Ser. A (Zool.) 28(4): 211-222.
- Okuno, J. and K. Nomura. 2002. A new species of the '*Periclimenes aesopius* species group' (Decapoda: Palaemonidae: Pontoninae) associated with sea anemone from Pacific coast of Honshu, Japan. Nat. Hist. Res. 7(1): 83-94.
- Osawa, M. and J. Okuno. 2002. Shallow-water species of the genus *Munida* (Crustacea, Decapoda, Anomura, Galatheidae) from the Ryukyu and Ogasawara Islands, southern Japan. . Bull. Nation. Sci. Mus., Ser. A (Zool.) 28(3): 129-141.
- 奥野淳児. 2002. 伊豆諸島八丈島から採集されたギヤマシカクレエビ (新称) (甲殻上綱, 十脚目, テナガエビ科). 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 7(1): 13-16.
- 奥野淳児. 2002. 平成 14 年度マリンサイエンスギャラリー ヤドカリの世界. 12 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- Asakura, A., H. Furumi, K. Nomura and H. Tachikawa. 2002. A brief review of records of *Calcinus gaimardii* (H. Milne Edwards, 1848) and *C. morgani* Rahayu & Forest, 1999 from Japanese waters, with note on color variants of *C. gaimardii* (Crustacea: Decapoda: Anomura: Diogenidae). Biol. Mag. Okinawa 40: 33-40.
- 立川浩之. 2002. 海面を浮遊後千葉県勝浦市に漂着したハナガタサンゴ属の一種の骨格片. 南紀生物 43(1): 45-46.
- 立川浩之・入村精一・稲葉 慎. 2002. 小笠原諸島で採集されたクモヒトデ類 (予報). ウミウシ通信 (水産無脊椎動物研究所) 35: 6-8.
- 西 栄二郎・立川浩之. 2002. 日本初記録のウバラカンザシゴカイ (新称) とカワラカンザシゴカイ (新称) の新産地, ヒトエカンザシゴカイとロウトヒトエカンザシゴカイの分布について (多毛綱, カンザシゴカイ科). 南紀生物 44(1): 19-24.
- 西 栄二郎・加藤哲哉・立川浩之. 2002. 房総半島館山近海から採集された棘皮動物に共生するウロコムシとスイクチムシ. 南紀生物 44(2): 127-131.
- 小川数也・立川浩之・高橋耿之介. 2002. 日本産非造礁性イシサンゴ類の再検討と同定の手引 -VIII. ツツミサンゴ科. 南紀生物 44(1): 27-36.
- Hori, S. and K. Yanagi. 2002. On the association between *Cirsotrema varicosa* (Lamarck, 1822) (Gastropoda: Epitoniidae) and the sea anemone *Radianthus crispus* (Ehrenberg, 1834) (Cnidaria: Anthozoa: Actiniaria). La Conchiglia 34(303): 13-14, 59.
- 並河 洋・平野弥生・今原幸光・岩瀬文人・柳 研介・小川数也. 2002. 相模灘の刺胞動物相の研究. 相模灘およびその沿岸地域の動植物相の経時的比較に基づく環境変遷解明の調査研究 (平成 13-17 年度) 平成 13 年度調査研究報告.
- Okuno, J. 2003. A new species of the genus *Odontozona* Holthuis, 1946 (Crustacea: Decapoda: Stenopodidae) from submarine caves in southern Japan. Nat. Hist. Res. 7(2): 167-180.
- Okuno, J. and M. Mitsuhashi. 2003. A new species of the genus *Periclimenes* Costa, 1844 (Crustacea: Decapoda: Palaemonidae) from the Ryukyu Islands, southern Japan. Proc. Biol. Soc. Wash. 116(2): 487-496.
- Okuno, J., M. Takeda and T. Kase. 2003. Additional specimens and range extension of *Brachycarpus crosnieri* Bruce, 1998 (Decapoda, Caridea, Palaemonidae). Crustaceana 76(9): 1143-1146.
- Osawa, M. and J. Okuno. 2003. A new genus and new species of the family Paguridae (Crustacea: Decapoda: Anomura), from Hachijo-jima Island, Japan, with a list of hermit crab species found in the same collection sites. Proc. Biol. Soc. Wash. 116(4): 943-955.
- 奥野淳児・斉藤知己・川本剛志・平山 昌・野村恵一. 2003. クメジマオトヒメエビ (新称) (甲殻上綱: 十脚目: オトヒメエビ科) の東アジア海域における記録と種内変異. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 7(2): 79-84.
- 奥野淳児・横川智章・田中幸太郎. 2003. 伊豆諸島・八丈島におけるウミハリネズミの北限記録. 伊豆海洋公園通信 14(11): 2-4.
- Asakura, A. and H. Tachikawa. 2003. Hermit crabs of the genus *Calcinus* from Japanese and adjacent waters (Crustacea, Decapoda, Anomura, Diogenidae): *C. hazletti* Haig and McLaughlin, 1984 and *C. haigae* Wooster, 1984. Crustaceana 76: 717-739.
- Asakura, A., H. Tachikawa and T. Kosuge. 2003. The first

- record of *Dardanus brachyops* Forest 1962 (Decapoda Anomura Diogenidae) from tropical Japan: a redescription of the male and supplemental information on female morphology. *Tropic. Zool.* 16: 189–207.
- Irimura, S. and H. Tachikawa. 2003. Ophiuroids from the Ogasawara Islands (Echinodermata: Ophiuroidea). *Ogasawara Res.* (28): 1–37.
- 西 栄二郎・立川浩之. 2003. 小笠原諸島父島沿岸に産するアマクサカンザシゴカイ (多毛綱, カンザシゴカイ科). *南紀生物* 45 (1): 21–23.
- 小川数也・立川浩之・高橋耿之介. 2003. 日本産非造礁性イシサンゴ類の再検討と同定の手引 -IX. ハナツツサンゴ属・コマサンゴ属・ホシコマサンゴ属. *南紀生物* 45 (1): 57–63.
- Numanami, H., R. Takeuchi, J. Komatuhara, C. Aoyama, K. Yanagi, K. Fujikura, T. Okutani and M. Kitamura. 2003. Deep-tow/R/V Natsushima Cruise Suruga Bay (NT03-05) onboard report (May 15–18, 2003). JAMSTEC. 57pp.
- Takahashi, T., Y. Kobayakawa, Y. Muneoka, Y. Fujisawa, S. Mohri, M. Hatta, H. Shimizu, T. Fujisawa, T. Sugiyama, M. Takahara, K. Yanagi and O. Koizumi. 2003. Identification of a new member of the GLWamide peptide family: physiological activity and cellular localization in cnidarian polyps. *Comp. Biochem. Physiol. Part B* 135: 309–324.
- 並河 洋・平野弥生・今原幸光・岩瀬文人・柳 研介・小川数也. 2003. 相模灘の刺胞動物相についての研究. 相模灘およびその沿岸地域の動植物相の経時的比較に基づく環境変遷解明の調査研究 (平成 13–17 年度) - 平成 14 年度調査研究報告. pp. 20–31. 国立科学博物館相模灘調査実行委員会, 東京.
- Okuno, J. 2004. *Periclimenes speciosus*, a new species of anthozoan associated shrimp (Crustacea: Decapoda: Palaemonidae) from southern Japan. *Zool. Sci.* 21 (8): 865–875.
- Osawa, M. and J. Okuno. 2004. *Lauriea siagiani* Baba, 1994 (Crustacea, Decapoda, Anomura, Galatheididae) from Hachijo-jima Island, the Izu Islands, Japan. *Biogeography* 6: 57–62.
- Yang, H.-J. and J. Okuno. 2004. First larvae of *Lebbeus comanthi* and *Thor amboinensis* (Decapoda: Hippolytidae) in the laboratory. *Korean J. Biol. Sci.* 8: 19–25.
- 奥野淳兒. 2004. 房総半島と琉球列島からのシンイボテガニ *Neoactumnus convexus* Sakai, 1964 (十脚目, 短尾下目, ケブカガニ科) の新記録. *千葉生物誌* 53 (1/2): 1–4.
- 奥野淳兒. 2004. 伊豆諸島八丈島初記録のワタリガニ科 3 種. *Cancer* (13): 1–4.
- 奥野淳兒・有馬啓人. 2004. 伊豆諸島・伊豆大島における浅海性ヤドカリ類相 (甲殻上綱, 十脚目, 異尾下目). *日本生物地理学会会報* 59: 49–69.
- Asakura, A. and H. Tachikawa. 2004. *Boninpagurus acanthocheles*, a new genus and species of hermit crab (Decapoda: Anomura: Paguridae) from shallow waters of the Ogasawara Islands, Japan. *J. Crust. Biol.* 24 (1): 157–167.
- 立川浩之. 2004. 千葉県鴨川市に漂着したトグロコウイカの死殻 (コウイカ目: トグロコウイカ科). *南紀生物* 46 (1): 63–64.
- 立川浩之・稲葉 慎. 2004. 海中無脊椎動物. *In* ダニエル = ロング・稲葉 慎 (編), 小笠原ハンドブック (分担執筆). pp. 81–88. 南方新社, 東京.
- Yanagi, K. and M. Daly. 2004. Hermaphroditic sea anemone *Anthopleura atodai* n. sp. (Anthozoa: Actiniaria: Actiniidae) from Japan with redescription of *A. hermaphroditica*. *Proc. Biol. Soc. Wash.* 117: 408–422.
- 柳 研介. 2004. 平成 16 年度マリンサイエンスギャラリー 展示解説書 ~ 水中に咲く花 ~ イソギンチャクの世界. 12 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- 並河 洋・平野弥生・今原幸光・岩瀬文人・柳 研介・小川数也. 2004. 相模灘の刺胞動物相についての研究. 相模灘およびその沿岸地域の動植物相の経時的比較に基づく環境変遷の解明の調査研究 (平成 13–17 年度) - 平成 15 年度調査研究報告. pp. 10–18. 国立科学博物館相模灘調査実行委員会, 東京.
- 村田明久. 2004. 海の生きもの観察ノート 3 磯の生きもののくらし. 24 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- Okuno, J. 2005. New host record, coloration in life, and range extension of *Periclimenes adularans* Bruce, 2003 (Decapoda, Palaemonidae), based on additional specimens from Japan and Taiwan. *Crustaceana* 78 (5): 591–598.
- Bruce, A. J., J. Okuno and X.-Z. Li. 2005. *Manipontonia* gen. nov., a new pontonine shrimp genus for *Periclimenes psamathe* (De Man) (Crustacea: Decapoda: Palaemonidae). *Zootaxa* 926: 1–11.
- Tachikawa, H. 2005. Azooxanthellate Scleractinia (Hexacorallia, Anthozoa, Cnidaria) collected from Otsuki, Kochi Prefecture, Japan. *Kuroshio Biosphere* 2: 1–27, 13 pls.
- 立川浩之. 2005. 第 5 章, 海や海辺の動物. *In* 千葉県史料研究財団 (編), 千葉県の自然誌 別編 3, 千葉県動物写真集 (分担執筆). pp. 267–447. 千葉県, 千葉市.
- 柳 研介. 2005. 第 5 章, 海や海辺の動物. *In* 千葉県史料研究財団 (編), 千葉県の自然誌別編 3, 千葉県動物写真集 (分担執筆). pp. 267–447. 千葉県, 千葉市.
- Okuno, J. and M. Takeda. 2006. Validity of *Palapedia truncatifrons* (Sakai, 1974) (Crustacea, Decapoda, Brachyura, Xanthidae). *Bull. Nation. Sci. Mus., Ser. A (Zool.)* 32 (1): 15–22.
- Bruce, A. J. and J. Okuno. 2006. *Periclimenes dardanicola* n. sp., a new species of hermit crab associated shrimp (Crustacea, Decapoda, Palaemonidae) from the western Pacific. *Zoosystema* 28 (2): 367–377.
- Osawa, M., Y. Fujita and J. Okuno. 2006. Two new species of *Pagurixus* (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from submarine caves of the Ryukyu Islands, southwestern Japan. *Zootaxa* 1148: 27–45.
- 奥野淳兒・有馬啓人. 2006. 伊豆諸島・伊豆大島から新たに採集された浅海性ヤドカリ類 (甲殻上綱, 十脚目, 異尾下目). *日本生物地理学会会報* 61: 29–43.
- 奥野淳兒・武田正倫・横田雅臣. 2006. 伊豆海洋公園産浅海性ヤドカリ類 (甲殻上綱: 十脚目: 異尾下目). 国

- 立科学博物館専報 (41): 145–171.
- 立川浩之. 2006. 海の生きもの観察ノート5 ウミウシを観察しよう. 32 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- Fukunaga, Y., M. Kurahashi, K. Tanaka, K. Yanagi, A. Yokota and S. Harayama. 2006. *Pseudovibrio ascidiaceicola* sp. nov., isolated from ascidians (sea squirts). Inter. J. Syst. Evol. Microbiol. 56: 343–347.
- 柳 研介. 2006. 相模灘のイソギンチャク相と本邦産のイソギンチャク分類の現状について. 国立科学博物館専報 (40): 113–173.
- Okuno, J. and Y. Fujita. 2007. Resurrection of the genus *Laomenes* A. H. Clark, 1919 (Decapoda, Caridea, Palaemonidae). Crustaceana 80 (1): 113–124.
- Osawa, M. and J. Okuno. 2007. A new species of the genus *Pylopaguropsis* (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from the Ryukyu Islands, southwestern Japan, with notes on two poorly known species. Spec. Div. 12 (1): 29–46.
- 奥野淳児・柳 研介・立川浩之. 2007. 千葉県勝浦市で採集されたムラサキニセツノヒラムシ (渦虫綱: 多岐腸目). 南紀生物 49 (1): 6–8.
- 立川浩之. 2007. 海の生きもの観察ノート5に掲載された千葉県産後鰓類に関する補遺. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 9 (2): 63–72.
- 立川浩之. 2007. 非造礁性イシサンゴのなかま. In 和歌山県立自然博物館 (編), 第25回特別展「刺胞動物展」解説書「刺胞をもつ動物サンゴやクラゲのふしぎ大発見」. pp. 21–22. 和歌山県立自然博物館, 海南市.
- 立川浩之・黒住耐二・藍澤正宏. 2007. 和田隆治氏採集貝類標本目録. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号 (8): 1–55.
- Komai, T. and H. Tachikawa. 2007. New genus and species of axiid shrimp (Crustacea, Decapoda, Thalassinidea) from Japan. Bull. Nation. Mus. Nat. Sci., ser. A (Zool.), 33 (3): 113–126.
- 柳 研介. 2007. 海の生きもの観察ノート6 イソギンチャクを観察しよう. 32 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- 柳 研介. 2007. 刺胞の発射の仕組み; 六放サンゴとイソギンチャク; イソギンチャクの七変化. In 和歌山県立自然博物館 (編), 第25回特別展「刺胞動物展」解説書「刺胞をもつ動物サンゴやクラゲのふしぎ大発見」. pp. 8–9, 18–19, 44 和歌山県立自然博物館, 海南市.
- 並河 洋・今原幸光・柳 研介. 2007. 第17章, 相模湾の刺胞動物. In 国立科学博物館 (編), 国立科学博物館叢書6 相模湾動物史, pp. 178–185. 東海大学出版会, 東京.
- 飯尾直子・宮本迪佳・久我亮子・有原千香子・川瀬裕司. 2008. 千葉県勝浦の潮間帯におけるヒライソガニの体サイズと抱卵期. 千葉中央博自然誌研究報告 10 (1): 15–19.
- Okuno, J. 2008. Annotated checklist of stenopodidean shrimps (Crustacea: Decapoda) from the Dampier Archipelago. Rec. West. Austr. Mus., Suppl. (73): 57–59.
- Okuno, J. and S. Imazeki. 2008. Occurrence of *Periclimenes tenuirostris* Bruce, 1991 (Crustacea: Decapoda: Palaemonidae) in the northwestern Pacific, with description of its coloration in life and record of new host. Nat. Hist. Res. 10 (1): 15–18.
- 奥野淳児・横田雅臣・村井智臣. 2008. サミダレヒメホンヤドカリの本州からの初記録. Cancer (17): 9–11.
- Tachikawa, H. 2008. New Records of Azooxanthellate Scleractinia, *Labyrinthocyathus limatulus* (Squires) and *Dactylotrachus cervicornis* (Moseley) (Cnidaria: Anthozoa: Scleractinia: Caryophylliidae) from Japan. Nat. Hist. Res. 10 (1): 9–14.
- Komai, T. and H. Tachikawa. 2008. Thalassinidean Shrimps (Crustacea: Decapoda) from the Ogasawara Islands, Japan. Nat. Hist. Res. 10 (1): 19–52.
- Fukunaga, Y., M. Kurahashi, K. Yanagi, A. Yokota and S. Harayama. 2008. *Acanthopleuribacter pedis* gen. nov., sp. nov., a novel marine bacterium isolated from chiton, and description of *Acanthopleuribacteraceae* fam. nov., *Acanthopleuribacterales* ord. nov., *Holophagaceae* fam. nov., and *Holophagae* classis nov. in the phylum 'Acidobacteria'. Inter. J. Syst. Evol. Microbiol. 58: 2597–2601.
- 柳 研介. 2008. ドフラインが採集したイソギンチャク類. うみうし通信 (61): 6–7.
- 柳 研介. 2008. 芦崎の自然調査概要, 8. 芦崎のイソギンチャクについて. むつ市文化財調査報告 36: 86–90.
- 鈴木孝男・内野 敬・金谷 弦・安野 翔・佐藤正典・柳 研介・風呂田利夫. 2008. 芦崎の自然調査概要, 7. 芦崎干潟に生息する底生動物の群集組成. むつ市文化財調査報告 36: 71–85.
- Chan, B. K. K., A. Murata and P. Lee. 2008. Latitudinal gradient in the distribution of intertidal barnacles of the *Tetraclita* species complex in Asian waters. Mar. Ecol. Prog. Ser. (362): 201–210.
- 村田明久. 2008. 平成19年度マリンサイエンスギャラリー展示解説書 オスメスの不思議-海の動物の世界から-. 12 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- Okuno, J. 2009. *Cuapetes* Clark, 1919, a senior synonym of *Kemponia* Bruce, 2004 (Crustacea: Decapoda: Palaemonidae). Zootaxa 2028: 67–68.
- Okuno, J. 2009. *Pliopontonia harazakii* sp. nov., a new species of coral-associated shrimp (Decapoda: Caridea: Palaemonidae) from Yaku-shima Island, southern Japan. Bull. Nation. Mus. Nat. Sci., Ser. A (Zool.), Suppl. (3): 105–113.
- Okuno, J. 2009. *Cinetorhynchus brucei*, a new species of shrimp (Decapoda, Caridea, Rhynchocinetidae) from the Ryukyu Islands, Japan. Crustaceana 82 (7): 939–949.
- Komai, T. and J. Okuno. 2009. Two new species of the hermit crab genus *Pagurixus* (Decapoda: Anomura: Paguridae) from the western Pacific. Bulletin of the Bull. Nation. Mus. Nat. Sci., Ser. A (Zool.), Suppl. (3): 137–156.
- Saito, T., J. Okuno and T. -Y. Chan. 2009. A new species of *Stenopus* (Crustacea: Decapoda: Stenopodidae) from the Indo-West Pacific, with a redefinition of the genus. Raffles

藻類誌

- Bull. Zool., Suppl. (20): 109-120.
- 立川浩之. 2009. 平成 20 年度マリンサイエンスギャラリー 東洋のガラパゴス - 小笠原諸島の海の生きもの - 展示解説書. 16 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- 柳 研介. 2009. 日本産イソギンチャク類分類の現状と展望. 月刊海洋 464: 2-11.
- Okuno, J. and A. J. Bruce. 2010. Designation of *Ancylomenes* gen. nov., for the '*Periclimenes aesopius* species group' (Crustacea: Decapoda: Palaemonidae), with the description of a new species and a checklist of congeneric species. Zootaxa 2372: 85-105.
- Okuno, J. and G. C. Fiedler. 2010. *Lysmata lipkei*, a new species of peppermint shrimp (Decapoda, Hippolytidae) from warm temperate and subtropical waters of Japan. In Fransen, C.H.J.M., De Grave, S. and Ng, P. K. L. (eds.), Studies on Malacostraca: Lipke Bijdeley Holthuis Memorial Volume. Crustaceana Monograph 14, pp. 597-610. Brill, Leiden.
- Bruce, A. J. and J. Okuno. 2010. Designation of a new genus *Lipkemenes*, with supplementary description and range extension of its type species, *L. lanipes* (Kemp, 1922) (Decapoda, Palaemonidae). In Fransen, C.H.J.M., De Grave, S. and Ng, P. K. L. (eds.), Studies on Malacostraca: Lipke Bijdeley Holthuis Memorial Volume. Crustaceana Monograph 14, pp. 159-171. Brill, Leiden.
- Marin, I. and J. Okuno. 2010. *Laomenes holthuisi* sp. nov., a new species of ctenoid-associated pontonine shrimp (Decapoda, Caridea, Palaemonidae) from the Izu Islands, Japan, with some remarks on Japanese species of the genus *Laomenes* Clark, 1915. In Fransen, C.H.J.M., De Grave, S. and Ng, P. K. L. (eds.), Studies on Malacostraca: Lipke Bijdeley Holthuis Memorial Volume. Crustaceana Monograph 14, pp. 461-472. Brill, Leiden.
- 奥野淳児. 2010. 平成 21 年度マリンサイエンスギャラリー 海の生きものの共生 - パートナリーシップの多様性 - 展示解説書. 16 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- 奥野淳児・藍澤正宏. 2010. 奄美大島で採集された日本初記録の *Pseudoceros scintillatus* Newman and Cannon, 1994 (渦虫綱: 多岐腸目). 沖縄生物学会誌 48: 91-94.
- 奥野淳児・中野誠志. 2010. クシノハクダヒゲエビ (根鰐亜目: クダヒゲエビ科) の駿河湾からの初記録. Cancer (19): 57-59.
- 奥野淳児・布村 昇. 2010. 富山市科学博物館所蔵の富山湾ならびに富山県内陸水産コエビ類 (甲殻亜門: 十脚目). 富山市科学博物館研究報告 (33): 77-87.
- Nishi, E., J. H. Bailey-Brock, A. S. D. Santos, H. Tachikawa and E. K. Kupriyanova. 2010. *Sabellaria isumiensis* n. sp. (Annelida: Polychaeta: Sabellariidae) from shallow waters of Onjuku, Boso Peninsula, Japan, and re-description of three Indo-Pacific sabellariid species. Zootaxa 2680: 1-25.

メンバー: 菊地則雄 (1999 年 3 月 ~), 宮田昌彦 (2009 年 4 月 ~)

概要: 分館海の博物館のある千葉県勝浦市を中心に, 重点地域として千葉県南部の館山, 大房岬周辺, 北部の銚子周辺, および東京湾奥の浦安市沿岸において, 海藻および海産種子植物の標本収集を行い, 各地の海産植物相について, 標本リストを作成 (または作成中) し, その特徴を明らかにした. また, 勝浦市を中心として大型淡水藻類についても注目し, 標本収集を行っている. また, 特に紅藻アマノリ属について, 国内各地で生育状況調査を行い, 千葉県内からは絶滅危惧種であるアサクサノリやカイガラアマノリの生育地を確認した. その他, 共同研究者とともに, 原始紅藻類を中心に, 形態, 生活史, DNA 解析等の研究を行い, 新分類群の創設, 属の変更等分類学的研究を継続中である. これらの結果を基に, 一般向け冊子「海の生きもの観察ノート 2 海藻を観察しよう」を執筆し, 企画展示「平成 18 年度マリンサイエンスギャラリー アサクサノリ - ノリの自然誌 -」を企画・実施した.

収集資料: 県外や海外産も含み, 藻類 6,643 点および海産種子植物 72 点の標本を収集, 登録し, 保管している (2010 年 12 月 31 日現在). うち千葉県産は藻類 6,304 点, 海産種子植物 60 点である.

主な研究成果:

- 1) 勝浦市の藻類・海産種子植物相として, 藻類 233 種 (うち海藻 231 種, 大型淡水藻類と陸生藻類 2 種), 海産種子植物 3 種の生育を明らかにした.
- 2) 館山市坂田・波左間周辺の海藻・海産種子植物相として, 海藻 239 種, 海産種子植物 2 種の生育を明らかにした.
- 3) 南房総市大房岬周辺の海藻・海産種子植物相として, 海藻 173 種, 海産種子植物 1 種の生育を明らかにした.
- 4) 千葉県内における紅藻アマノリ属の絶滅危惧種アサクサノリとカイガラアマノリの生育地を明らかにした.
- 5) 千葉県初記録として, 海藻 18 種の生育を明らかにした.
- 6) 千葉県内で採集された個体を基に, 数種について, 形態および生活史等の観察を行い, 紅藻 2 種の分類学的再検討を行った.
- 7) 他機関研究者と共同で, 紅藻ベニミドロ目, エリスロペルティス目およびウシケノリ目の種類について, 形態および DNA 解析を用いた系統分類学的研究を行い, 新分類群等の記載を行った.

発表論文・報告書等:

宮田昌彦・菊地則雄・千原光雄. 2002. 千葉県産大型海産藻類目録. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告特別号 (5): 9-57.

- 菊地則雄・吉田忠生・吉永一男. 2002. 絶滅が危惧される紅藻アマノリ属植物数種の生育状況. エコソフィア 9: 112-117.
- 菊地則雄・島村嘉一・尾上一明. 2003. 浦安市沿岸における絶滅危惧種カイガラアマノリ(紅藻綱ウシケノリ目)の生育. 千葉生物誌 52(2): 71-74.
- 菊地則雄. 2003. 海の生きもの観察ノート2 海藻を観察しよう. 32 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- 菊地則雄. 2003. 1-5 紅藻アマノリ類. In 竹内均(監), 地球環境調査計測事典 第3巻 沿岸域編, pp. 815-819. フジ・テクノシステム, 東京.
- Kikuchi, N., M. Miyata and M. Notoya. 2004. Taxonomy of the genus *Bangia* (Bangiaceae, Rhodophyta) in Japan. Jpn. J. Phycol. 52(Suppl.): 163-168.
- Niwa, K., N. Kikuchi, M. Iwabuchi and Y. Aruga. 2004. Morphological and AFLP variation of *Porphyra yezoensis* Ueda form. *narawaensis* Miura (Bangiales, Rhodophyta). Phycol. Res. 52: 180-190.
- Kikuchi, N. and J.-A. Shin. 2005. Morphology and life history of *Stylonema cornu-cervi* Reinsch (Goniotrichales, Rhodophyta) from Japan. Algae 20(1): 37-42.
- Niwa, K., N. Kikuchi and Y. Aruga. 2005. Morphological and molecular analysis of the endangered species *Porphyra tenera* (Bangiales, Rhodophyta). J. Phycol. 41: 294-304.
- Fujiyoshi, E. and N. Kikuchi. 2006. Growth of excised pieces containing elongated denticles from the lower marginal parts of *Porphyra tanegashimensis* and *P. haitanensis* gametophytes. Bull. Fish. Res. Agen. (16): 9-13.
- Kikuchi, N., J. A. West, M. Kajimura and J.-A. Shin. 2006. *Goniotrichopsis reniformis* (Kajimura) Kikuchi comb. nov. (Stylonematales, Rhodophyta) from Japan. Algae 21(2): 185-191.
- 菊地則雄・二羽恭介. 2006. 東京湾多摩川河口干潟における絶滅危惧種アサクサノリ(紅藻)の生育状況とその形態. 藻類 54: 149-156.
- 菊地則雄. 2006. 平成18年度マリンサイエンスギャラリー展示解説書 アサクサノリ・ノリの自然誌. 24 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- 菊地則雄・川名 興・宮田昌彦・富塚朋子. 2007. 房総半島南部大房岬の海産植物相. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 9(2): 45-54.
- 島村嘉一・菊地則雄. 2007. 千葉県沿岸における絶滅危惧種カイガラアマノリ *Porphyra tenuipedalis* (紅藻綱ウシケノリ目)の生育地について. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 9(2): 55-61.
- Zuccarello, G. C., J. A. West and N. Kikuchi. 2008. Phylogenetic relationships within the Stylonematales (Stylonematophyceae, Rhodophyta): biogeographic patterns do not apply to *Stylonema alsidii*. J. Phycol. 44: 384-393.
- 阿部真比古・小林正裕・玉城泉也・藤吉栄次・菊地則雄. 2008. ミトコンドリア ATP6 遺伝子を用いた変種オオバアサクサノリ *Porphyra tenera* Kjellman var. *tamatsuensis* Miura の判別について(予報). 水産増殖 56(4): 497-503.
- 榎本祐嗣・須藤卓也・菊地則雄. 2009. 滑海藻と未滑海藻の潤滑性ならびに古墳時代における修羅の潤滑法についての一考察. トライボロジスト 54(3): 217-220.
- 菊地則雄・阿部真比古・島村嘉一・玉城泉也・藤吉栄次・小林正裕. 2009. 千葉県における絶滅危惧種紅藻アサクサノリの生育. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告 10(2): 45-56.
- Niwa, K., S. Iida, A. Kato, H. Kawai, N. Kikuchi, A. Kobiyama and Y. Aruga. 2009. Genetic diversity and introgression in two cultivated species (*Porphyra yezoensis* and *Porphyra tenera*) and closely related wild species of *Porphyra* (Bangiales, Rhodophyta). J. Phycol. 45: 493-502.
- 菊地則雄. 2009. コラム 5 アサクサノリとスサビノリ ノリ養殖に見る在来種と外来種. In 日本プランクトン学会・日本ベントス学会(編), 海の外来生物 人間によって攪乱された地球の海. pp. 151-152. 東海大学出版会, 神奈川県秦野市.
- 菊地則雄. 2010. 日本産紅藻アマノリ属藻類 - 特に分類, 生活史, 絶滅危惧種について -. 海藻資源 (22): 2-21.
- Zuccarello, G. C., N. Kikuchi and J. A. West. 2010. Molecular phylogeny of the crustose members of the Erythropeltidales (Compsopogonophyceae, Rhodophyta): New genera *Pseudoerythrocladia* and *Madagascaria* and the evolution of the upright habit. J. Phycol. 46: 363-373.
- Kikuchi, N., S. Arai, G. Yoshida, J.-A. Shin, J. E. Broom, W. A. Nelson and M. Miyata. 2010. *Porphyra migatae* sp. nov. (Bangiales, Rhodophyta) from Japan. Phycologia 49(4): 345-354.
- Abe, M., M. Kobayashi, M. Tamaki, E. Fujiyoshi and N. Kikuchi. 2010. Rapid discrimination of *Porphyra tenera* Kjellman var. *tamatsuensis* Miura by PCR-RFLP. J. Applied Phycol. 22: 405-408.

## その他

### メンバー:

鳥類: 布留川 毅 (2007年4月~2009年3月)

概要: 分館海の博物館周辺を中心に海岸域に生息する鳥類を定期的に調査し, その結果を基に, 一般向け冊子「海の生きもの観察ノート8 海の鳥を観察しよう」を執筆し, 企画展示「平成20年度収蔵資料展 海辺の鳥たち~豊かな房総の海に舞う~」を企画・実施した. また, 分館海の博物館周辺の鳥類や哺乳類に関して, 各研究職員が他機関の研究者等と随時共同研究を行った.

収集資料: 鳥類に関しては, 収集された事故死個体のうち一部を剥製として保管した. 哺乳類に関しては, 千葉県立中央博物館に保管している.

### 主な研究成果:

- 1) 勝浦市沿岸の鳥類相を明らかにした.
- 2) 千葉県南東部における哺乳類のロードキルの状況を明らかにした.



発表論文・報告書等：

- 奴賀俊光・桑原和之・高山順子・関 高史・菊地則雄．  
2003. 千葉県勝浦市・千葉県立中央博物館分館・海の博物館付近の鳥類．我孫子市鳥の博物館調査研究報告 11: 11-24.
- 奴賀俊光・桑原和之・乃一哲久・羽賀秀樹・竹田伸一．  
2004. 千葉県周辺海域における繁殖期のカンムリウミスズメ *Synthliboramphus wumizusume* の観察記録．山階鳥学誌 36: 93-96.
- 浅田雅彦・立川浩之・高山順子・村田明久・前田喜四雄．  
2005. 千葉県におけるヒナコウモリの初記録．千葉県立中央博物館自然誌研究報告 8 (2): 49-51.
- 落合啓二・乃一哲久・布留川 毅・鈴木藤蔵．2008. 千葉県南東部における哺乳類のロードキルの状況．千葉県立中央博物館自然誌研究報告 10 (1): 21-26.
- 布留川 毅．2008. 平成 20 年度収蔵資料展展示解説書 海辺の鳥たち～豊かな房総の海に舞う～. 24 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館，勝浦市．
- 布留川 毅．2009. 海の生きもの観察ノート 8 海の鳥を観察しよう．40 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館，勝浦市．

(2011 年 1 月 30 日受理)

**Outline of “Natural History of Marine  
Organisms of the Boso Peninsula”  
(1999–2010)**

Norio Kikuchi, Junji Okuno  
and Hiroshi Kawase

Coastal Branch of Natural History Museum  
and Institute, Chiba  
123 Yoshio, Katsuura, Chiba 299-5242, Japan.  
E-mail: kikuchin@chiba-muse.or.jp

Since 1999, the research staff of the Coastal Branch of Natural History Museum and Institute, Chiba, has carried out studies on the characteristics of marine fauna and flora of the Boso Peninsula, Honshu, Japan, entitled as “Natural History of Marine Organisms of the Boso Peninsula” . Herein, we summarize the results of the studies carried out by 2010.